



100kgからの学び

校長 大谷 京司

梅雨入りの前に、3月に植えたじゃがいもの収穫を全員で行いました。男爵、メークイン、キタアカリ、それぞれ大きく成長して今年も大量に収穫できました。



やや黄色や茶色に葉の色が変わったじゃがいもの茎の根元を引っ張ると、ごろごろ姿を現します。さらに、その周辺を手で掘っていくと、結構大きなものも隠れていて、見つけた時の喜びはひとしおです。



いっぱい詰めこまれた大きな黒いかごを12個、バケツを2つ、みんなで長い坂をえっちらこっちら、ひーひー言いながら協力して運びました。時には少し傾いて坂をころころ転げ落ちるじゃがいもも。ウッドデッキに全部を並べた時は、よく採れたなーと嬉しくなりました。



早速、子どもたちに今年も「じゃがいもの重さ当てクイズ」を行いました。採れたじゃがいもの総重量を子どもに予想させて一番近かった児童に1kgプレゼントという企画です。総重量99.3kgに対して23kgから135kgまでさまざまな回答があった中で、100kgと回答した児童が2人いました。かごを持ち上げた時の感じとそのかごの数、そして自分の体重と比較しながら2人で答えを出した

そうです。量感をつかむ機会になればというこちらの意図とぴったりです。500gずつじゃがいもをゲットした2人も大喜びでした。これからの自分の生活にじゃがいも掘りの体験やその重さの予測などが役に立ってくれば嬉しい限りです。

収穫したじゃがいもは早速、給食で提供したほか、「くらし」の調理の授業で使いました。残りは、子どもたちが値付けをしたうえで、ファミリーフェスタで販売をして収益につなげたいと思います。その収益は、6年生の修学旅行の昼食代等の援助にあてられます。

善いおこないだったで賞

6月23日、本校の2年生児童が、愛甲石田駅から朝のスクールバスの駐車場に移動する際、うっかりと線路に校帽を落としてしまったということがありました。その話を聞いた本校の3年生児童がすぐに駅員さんにその事を報告。無事に何の混乱もなく校帽が戻ってきました。適切に対応してくれた児童には、全校の前でみんなの模範的行動だったとして賞状を授与しました。



水泳授業

今年も伊勢原スイミングのプールをお借りして4回にわたる水泳授業を行っています。泳げる能力に応じて5グループに分かれ、それぞれの目標を目指して毎回取り組んでいます。

3回目は水難防止教育ということで、夏休みに水遊びの機会もあると思いますが、万が一水難に遭遇した時でも「浮いて待て」をパニックにならずに実行できるよう、ペットボトルをお腹にあてて浮いて救助を待つ練習を行う予定です。



ファミリーフェスタ 2025 に向けて

6月28日(土)開催予定のファミリーフェスタ2025に向けて、各縦割りグループでは、それぞれのブースで販売する手作り商品やゲームコーナーの最終の仕上げに入っています。



昨年はどのグループもゲームコーナーでしたが、今年は、自分たちで考えた手作り商品を販売するグループもあり、リーダーの指示に従いながら、初めて参加する1年生も夢中になって取り組んでいます。

おみこし作りに手を挙げた子たちは、今年の年間テーマ「文化」を意識して地球を中心に、世界各国の文化をおみこしとして表現することに挑戦しています。



図鑑やタブレット端末等を利用しながら、作ろうとする造形物のもつ文化的価値や歴史などを意識することで、単なるものづくりに留まらず、子どもたちの未来につながる創作意欲も高まるのではないかと考えています。子どもたちのアイデアあふれる作品やゲームが当日のブースではたくさん並ぶことと思いますが、是非、この制作過程のことも思いを馳せて参加していただくとありがたいです。

本物の芸術を楽しく感じる

6月4日(水)、七沢幼稚園の家庭教育学級の一環として、マリンバ奏者の宮野下シリウ氏による演奏会が初等学校の多目的ホールで幼初合同で開催されました。4歳からマリンバの演奏を始め、国際的なコンクールにおいても数々の優秀な成績

を修めているシリウ氏。4本のマレット

が巧みに操られ、そこから次から次へと美しい音色がリズムカルに心地よく耳に飛び込んでくる演奏は、一瞬で会場にいる者すべてを魅了してしまいました。最後の子どもたちからの質問コーナーでは、マリンバの構造に関する鋭い質問もあり、いい質問だねと褒められていました。

